

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0506

		令和5年度行政事業レビューシート			(文部科学省)		
事業名	日本学士院会館施設整備		担当部局庁	日本学士院		作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	振興企画課	振興企画課長 坂下鈴鹿	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	日本学士院法第8条、第9条		関係する計画、通知等	物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策国土強靱化年次計画2022			
政策	-		主要経費	その他の事項経費			
施策	いずれの施策にも該当しないもの						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的(5行程度以内)	日本学士院会館は、昭和49年の落成後約50年が経過し、各所で老朽化が進んでいる。皇族や日本学士院会員、一般市民等多くの方々を利用する日本学士院の衛生かつ安全な環境を確保するために必要な改修を行うことを目的としている。						
現状・課題(5行程度以内)	日本学士院会館は、昭和49年の落成後約50年が経過し、各所で老朽化が進んでいる。特に、給排水衛生設備に漏水・詰まり等の発生の恐れがあるため、早急に改修を実施するとともに、女性も活用しやすい施設とするため、各階1室しか設置されていない女性用トイレの増設を行う。また、外壁タイルにひび割れ、浮き等が相当数あることが判明しており、人的被害の恐れもあるため、早急に改修を実施する。						
事業概要(5行程度以内)	日本学士院会館は、昭和49年の落成後約50年が経過し、各所で老朽化が進んでいる。特に、給排水衛生設備に漏水・詰まり等の発生の恐れがあるため、早急に改修を実施するとともに、女性も活用しやすい施設とするため、各階1室しか設置されていない女性用トイレの増設を行う。また、外壁タイルにひび割れ、浮き等が相当数あることが判明しており、人的被害の恐れもあるため、早急に改修を実施する。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	207.8	-	-
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	207.8	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲207.8	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	207.8	-
		執行額(G)	-	-	-	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	日本学士院施設費	-	-			
	(目)	施設整備費	207.8	-			
計(A)		-	-				

活動内容① (アクティビティ)	日本学士院会館の給排水設備等を改修する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	給排水設備、女性用トイレの改修	改修される老朽化部分等	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	1	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度		
	老朽箇所の改修、女性用トイレの増設による衛生的かつ女性も活用しやすい施設の実現	衛生的かつ女性も活用しやすくなる箇所 (給排水設備1カ所、女性用トイレ3カ所)	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	4		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	日本学士院会館の改修状況									
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
	本事業は、日本学士院の衛生かつ安全な環境を確保するために必要な改修を行うことを目的に給排水設備等の改修を行うものであり、段階的なアウトカムの設定が難しいため。									

活動内容② (アクティビティ)		日本学士院会館の外壁を改修する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		外壁の改修	改修される外壁	活動実績	件	-	-	-	-	-
当初見込み	件			-	-	-	1	-		
↓ 成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		老朽箇所の改修による安全な施設の実現により、日本学士院会館の外壁の改修につながるため、長期アウトカムとして設定した。								
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		老朽箇所の改修による安全な施設の実現	安全な環境が確保される面積	成果実績	m ²	-	-	-	-	
				目標値	m ²	-	-	-	1,282	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		日本学士院の改修状況								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等		名称								
		URL								
		該当箇所								

事業所管部局による点検・改善

点検結果	関係部署との連絡調整を密に図り、整備計画に基づく着実な事業の実施を図り、工事発注に当たっては一般競争入札を行い競争性の確保に努め、コスト削減を大幅に行い、効率的な予算の適切な執行に努めようとしていることが認められる。	目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)
改善の方向性	引き続き、予算の計画的な執行に努めることが求められる。	

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見

事業内容の一部改善	この事業は、令和4年度決算において多額の繰越が生じていることから、より詳細な要因を分析したうえで、手法を検討し、予算執行の適切な改善に努めるべきである。
------------------	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善	本事業の繰越事由は、事前調査を行った際に想定以上に当該施設が劣化していることが判明したことに伴い、改修工法等を見直す必要が生じたことによる計画の変更によるものである。繰越後、令和5年6、7月に契約済で、年度内に完了するスケジュールとなっており、適正に執行される見込みである。
--------------	---

過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ														
	-														
	上記への対応状況														
	-														
	その他の指摘事項														
	-														
	上記への対応状況														

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-															
平成24年度	新25-0026															
平成25年度	449															
平成26年度	445															
平成27年度	441															
平成28年度	423															
平成29年度	-															
平成30年度	新31-0033															
令和元年度	文部科学省	-	新31	-	0025											
令和2年度	文部科学省					0430										
令和3年度	2021	文科	20	0454												
令和4年度	2022	文科	新22	0040												

(令和5年度イメージ)

文部科学省
(日本学士院)

※全額繰越を行い、令和5年度に執行予定。

【一般競争契約(総合評価)】

A.民間企業等
(給排水設備等の改修)
1件:106百万円

【一般競争契約(総合評価)】

B.民間企業等
(外壁の改修)
1件:102百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者
について記載する。費目
と使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	給排水等設備改修工事	106	施設整備費	外壁改修工事	102
計		106	計		102

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック